

誰もが本当の豊かさ

幸せを感じられる

札幌づくりに挑戦します



札幌市長 上田 文雄
うえだ ふみお

4月10日の選挙において、多くの方々のご支持をいただき、札幌市長として引き続き市政を担わせていただくことになりました。これまでの市政運営と、今後の政策に対して評価をいただいたと受け止めており、皆さんの期待と職責の重みを感じ、身の引き締まる思いです。

今回の選挙は、3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故の影響が、私たちの心に影を落とす中で行われました。私も被災した仙台市などを訪問してまいりましたが、あらゆるものを打ち砕く災害の脅威を目の当たりにし、事態の深刻さをあらためて強く実感したところです。

今、札幌市の市長として、第一に市民の安全を守ることが求められています。そのためには、災害に強いまちづくりを継続していくとともに、未曾有の大災害と原発事故から得られる教訓を今後に生かさねばなりません。中でも、被害を最小化するために最も大切なものは、共に支え合う「人の和」であり、「市民自治」の力を結集する知恵であると私は考えます。

私は2期8年間の市政運営において、「市民が主役のまちづくり」という考えのもと、市民自治を推進してきました。その結果、多くのまちづくり活動が生まれ、ごみ的大幅な減量を達成するなど輝かしい成果を挙げることができました。日本全体が困難な状況にある今、札幌の自治の力をあらためて考え、なお一層市民自治の内容を充実させるといふ決意を新たにしております。

これからの札幌は、超高齢社会、人口減少というかつて経験したことのない時代を迎えます。そうした中にあつても、知恵と力を出し合い、前向きに未来を切り開いていく。そして、誰もが本当の豊かさ、幸せを感じられる札幌づくりに挑戦していきます。

全国一と評される札幌の魅力と誇り。これを市民の皆さんと共に磨き高めながら、道都・札幌として北海道、さらには被災地を含め日本全体を元気にしていけるよう、力の限りを尽くしてまいります。今後とも、市民の皆さんのお力添えをよろしくお願い致します。